

みんなで作ろう 東名綾瀬インターチェンジ



綾瀬市商工会まちづくり委員長

綾瀬インターチェンジ建設推進協議会事務局長

栗原 茂明

インターチェンジの必要性とメリット(1)

- 東名高速道路、新幹線、厚木基地
 - ー 広域の交通アクセスがなく、活用できない。
- 綾瀬市の知名度、イメージアップにつながられ、市民が市に誇りをもてる。
- 21世紀の都市間競争に広域交通網の整備が不可欠である。
- 県央・湘南地域における総合交通対策においても必要性が高い。

インターチェンジの必要性和メリット(2)

(生活) 豊かな暮らし

- 市民の生活・娯楽・通勤などの利便性を高めることができる。
- 医療をはじめ警察署など、市民生活に必要な広域的な公共施設の誘致にも有利。

インターチェンジの必要性和メリット(3)

(産業・経済) 豊かなまち

- 綾瀬市内または周辺地域においては、自動車関連、研究開発、ものづくりの企業が立地し、幅広い産業集積をさらに進め、都市の活力を高める施策が必要。
- 商業・工業の集積が期待でき、雇用機会の増大により、人口の増加や所得の増加も期待できる。

協議会と行政の関係性

- 本協議会は、産業界を中心に広く市民団体を加え、**市民総ぐるみの組織**に発展した。
- 綾瀬市は、市民と行政の「**協働のまちづくり**」を目指している。
- 今回の取組みは、綾瀬市の**21世紀のまちづくり**の方向性を創造するものとして意義が高い

インターチェンジの意義(1)

- 道路は、「人、物、金」の基幹的アクセスという観点だけで捕らえるだけでなく、**文化の発信・受入れ**という価値を見ることができる。
- 綾瀬市の市史によれば、およそ4万年前には、全国から人が移住し、定住したことが記されており、古代から暮らしやすい土地であった。

インターチェンジの意義(2)

- インターチェンジは、綾瀬市の21世紀の新しい玄関口として、全国との物・人・文化の交流の窓口になる。
- 高速道路は、日常的に利用する生活基盤に必要な施設になっている。

課題等の取り組み

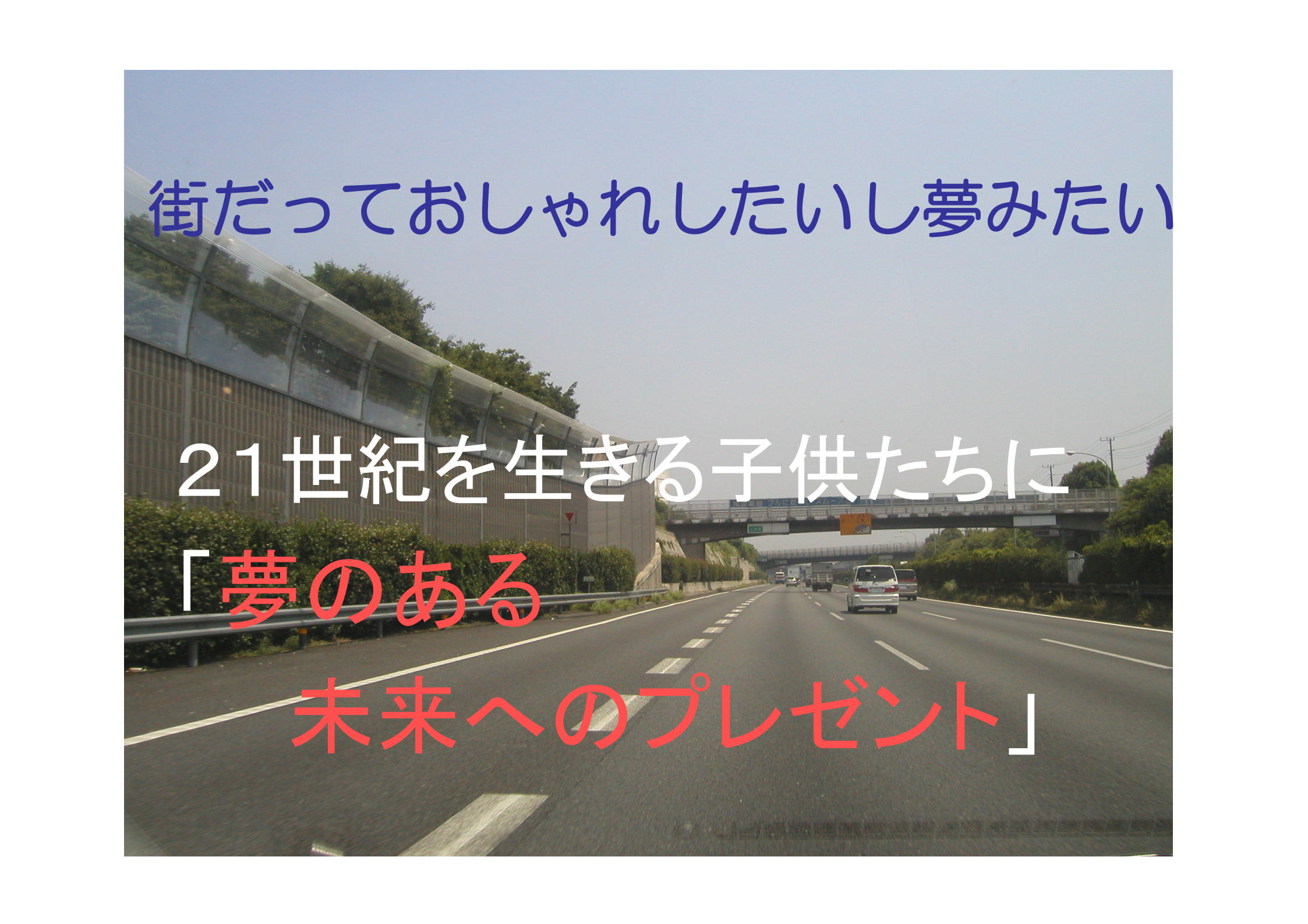
- 市内の交通量の増大も懸念されることから、神奈川県及び綾瀬市の総合的な交通対策の確立が必要である。
- 大気汚染、騒音などの影響を研究し、環境負荷の少ない施策の対応が求められる。
- 整備、設置にかかる情報を公開し、市民とともに考える視点が必要。

まちづくりの観点（1）

- 市民と行政、産業界が同じテーブルで議論・研究し、綾瀬市の**未来像を共有**することが必要。
- 綾瀬市の市役所を中心とした**中心市街地の形成**に大きなインパクトを与えることができることから、既存の計画をベースに「**未来の市街地像**」を議論し、計画することが重要

まちづくりの観点（2）

- 周辺都市、産業界と連携し、神奈川県マスタープランに位置付ける。
- 市民に理解と共感を得る活動を続け、事業の実現に向けた活動の広がりと盛り上げりを高めていく。
- 行政と市民の協働事業として取組むことが重要。



街だっておしゃれしたいし夢みたい

21世紀を生きる子供たちに

「夢のある

未来へのプレゼント」